

第39回

社会言語科学学会大会

Program of the 39th Biannual Meeting of the Japanese Association of Sociolinguistic Sciences



日時 2017.3.18 (土) ~ 19 (日)
受付開始: 18日(土) 9:30 ~ / 19日(日) 10:00 ~

場所 杏林大学 井の頭キャンパス
〒181-8612 東京都三鷹市下連雀5-4-1

交通

(1)三鷹駅(JR中央線・総武線):南口バス乗り場(8番),杏林大学井の頭キャンパス行(約15分) (2)吉祥寺駅(JR中央線・総武線・京王井の頭線):南口バス乗り場(5番),杏林大学井の頭キャンパス行(約15分) (3)千歳烏山駅(京王線):北口バス乗り場(1番),吉祥寺駅行・吉祥寺駅中央口行「野村病院」下車(約20分)

お問い合わせ先

社会言語科学学会研究大会委員会 E-mail: jass-desk@bunken.co.jp http://www.jass.ne.jp/another/?page_id=2

参加費

(大会論文集1冊込)
会 員:3,000円 / 非 会 員:5,000円
学生会員:2,000円 / 学生非会員:4,000円

3月18日(土)

9:30	受付開始 (F棟3F ロビー)			
10:00	開会			
10:00 - 10:30	<セッション1> (F棟3F F303教室) 司会:小川 俊輔(県立広島大学) 多言語政策を通じた集団間関係の形成をめぐる一ポリビア東部低地チキタニア地方におけるベシロ語教育政策と政党争いの分析から一 中野 隆基(東京大学)	<セッション2> (F棟3F F310教室) 司会:建石 始(神戸女学院大学) 他称詞としての指示詞一親族間の談話における運用一 小森 由里(国際基督教大学/立教大学)	<セッション3> (F棟3F F311教室) 司会:山本 真理(早稲田大学) スタイルシフトにおける非デスマス形の指標的機能一非デスマス形へのシフトは親しみを表すか一 岡崎 渉(東京工業大学)	<セッション4> (F棟4F F414教室) 司会:杉浦 秀行(摂南大学) 日豪における移動する人々の言語レパートリー調査一社会ネットワークへの参加の文脈に焦点を当てて一 村岡 英裕(千葉大学),倉田 尚美(Monash University)
10:35 - 11:05	研究発表(口頭発表) 言語の選別と淘汰をめぐるポリティクス一南米,チキトスのイエズス会ミッションにおける言語政策とその帰結一 金子 亜美(東京大学)	省略可能な二人称代名詞がもつ働きかけの意味の地域差 山本 空(関西大学)	K-POPファンダムとコードスイッチング一韓国女性アイドルグループ(少女時代)の東京ドーム公演における発言を通して一 鄭 孝俊(東京大学)	フレーミングとフッティング理論から言語と自己形成の関連性を探る一旧満洲国の日本人住民のアイデンティティー 甲賀 真広(首都大学東京)
11:10 - 11:40	相互行為を通して示される在日外国人の文化的アイデンティティーIdentityとSubjectivityによる分析の試み一 ミラー 成三(千葉大学)	会話に見る「また」の用法一コミュニケーションの特性に応じた構文の発達一 堀内 ふみ野(慶應義塾大学/日本学術振興会),第十 早織(東京外国語大学/アルバート大学),浜田 啓志(杏林大学),中山 俊秀(東京外国語大学)	LINEの会話における聞き手の行動一相づちの分析から一 倉田 芳弥(専修大学),佐々木 泰子(お茶の水女子大学),加納 なおみ(お茶の水女子大学),楊 虹(鹿児島県立短期大学),船戸 はるな(お茶の水女子大学)	商標の類否判断基準における質的データ分析(QDA)と形式概念分析(FCA)の統合的アプローチ 五所 万実(慶應義塾大学)
11:45 - 12:15	日本人であることが語られる文脈一「中国残留孤児・中国残留婦人」のインタビューから一 時津 倫子(成城大学)	メディアと場面に応じた英語定型表現の使い分け 土屋 智行(九州大学)	自閉症スペクトラム者との相互行為で用いられる解釈フレームについて一初対面会話と対話者へのフォローアップインタビューの談話分析から一 合崎 京子(立教大学)	

12:15 - 13:10	JASSカフェ (F棟4F F414教室)			
13:15 - 13:20	開催校ご挨拶 (F棟3F F309(メイン会場)・F310教室(中継会場))			
13:20 - 13:25	会長挨拶 (F棟3F F309(メイン会場)・F310教室(中継会場))			
13:25 - 14:45	大会発表賞授賞式 (F棟3F F309(メイン会場)・F310教室(中継会場)) 徳川宗賢賞授賞式および記念講演 優秀賞 第二言語としての日本語小論文評価における「いい内容」「いい構成」を探る一評価観の共通点・相違点から一 坪根由香里(大阪観光大学),田中真理(名古屋外国語大学) 萌芽賞 日本語の翻訳字幕における省略・縮約の実現一韓国語との対照分析一 尹 盛熙(関西学院大学)			

15:00 - 18:00	シンポジウム <公開シンポジウム> (F棟3F F309(メイン会場)・F310教室(中継会場)) 「医療現場のコミュニケーション」 在宅医療における地域連携一東日本大震災からの復興とともに一 村岡 正朗(宮城県気仙沼市村岡クリニック) 地域と医療福祉一医療現場で見えてきたこと、地域のためにできること一 加藤 雅江(杏林大学医学部附属病院患者支援センター) 高齢者を支えるまちづくりと連携について一行政の取り組み一 古園 純一(三鷹市健康福祉部高齢者支援課) 安心から納得のコミュニケーションへ一『豊かな生』を実現するための共通基盤一 石崎 雅人(東京大学)
---------------	---

3月19日(日)

10:00 - 10:30	受付開始 (F棟3F ロビー)			
10:30 - 11:45	ポスター発表 司会:安井 永子(名古屋大学) (F棟3F ロビー) P-01 物語に重要な要素は何か 加藤 祥(人間文化研究機構)	P-02 中国語における日源新詞の受容一定着度調査を中心として一 張 曉娜(鹿児島大学)	計17件	

チュートリアルセッション (F棟3F F302教室)

13:00 - 13:30	<セッション5> (F棟3F F303教室) 司会:大場 美和子(昭和女子大学) 日本語と中国語における呼びかけ語の対照研究一感情表出の調整に着目して一 楊 虹(鹿児島県立短期大学)	<セッション6> (F棟3F F310教室) 司会:平田 未季(秋田大学) 格助詞「に」で終わる新聞見出しについて 劉 吉香(関西外国語大学/東北電力大学)	<セッション7> (F棟3F F311教室) 司会:嶋 ちはる(国際教養大学) Japanese Diplomatic Discourse: Speeches of Two Foreign Ministers Chirasombutti Voravudhi(Chulalongkorn University)	<セッション8> (F棟4F F414教室) 司会:生天目 知美(東京海洋大学) 沈黙に対して参加者と研究者はどのように捉えているのか一沈黙行為の解釈枠組みの構築に向けて一 種市 瑛(立教大学)
13:35 - 14:05	研究発表(口頭発表) 中日両言語における慣習的間接発話行為の特徴に関する一考察一不同意発話行為を中心に一 張 麗(広島大学)	日本語の述語における機能語の省略について 尹 盛熙(関西学院大学)	不満表明としての「皮肉・冗談」一タイ日接触場面に注目して一 ウォンサミン スリーラット(お茶の水女子大学)	繰り返しを含む会話の連鎖からみえる会話スタイル一日中韓母語話者の比較から一 荻原 稚佳子(明海大学)
14:10 - 14:40	中国人留学生と日本人学生の友人関係の談話にみる感謝ストラテジー 市原 明日香(お茶の水女子大学)	再帰構文の周辺例についての認知メカニズム 李 静(九州大学)	日本の英語による対外情報発信の談話分析 山本 はるか(慶應義塾大学)	日・英語初対面会話における聞き手の関与ストラテジーと会話構造の対照分析 岩田 祐子(国際基督教大学)
14:45 - 15:15	日本・韓国・中国の自己否定的な評価表出場面における会話展開に関する一考察 金 庚芬(明星大学),関崎 博紀(筑波大学),趙 海城(明星大学)	悪魔は細部に宿る一構文認識の分散的手掛かりとしての英語冠詞から探る聞き手指向の文法論一 吉川 正人(慶應義塾大学)	岡崎敬語調査に見る談話構成傾向の年齢層間差と経年変化 藏屋 伸子(日本大学)	